

九頭竜川水系の今後の河川整備に 関する説明結果報告

平成17年7月19日

近畿地方整備局
福井河川国道事務所
足羽川ダム工事事務所
九頭竜川ダム統合管理事務所
福井県

-1-

- 目 次 -

1. 説明資料の情報発信の方法について
2. 主な質問等の紹介

-2-

1. 説明資料の情報発信の方法について

-3-

●「九頭竜川水系の今後の河川整備に関する説明資料」の概要版(パンフレット)を九頭竜川・日野川・足羽川流域毎に作成



-4-

◇説明資料の情報発信の方法

●文字媒体による情報発信

- ・事務所、市町村役場において閲覧配布
- ・インターネット

●肉声による情報発信

- ・住民説明会

-5-

◇説明資料に対する質問等の受付け方法

●文字媒体による方法

- ・メール
- ・FAX
- ・郵便(ハガキ)

●生の声を聴く

- ・住民説明会を開催

-6-

◇事務所・市町村役場での閲覧配布

○説明資料の概要版(パンフレット)の閲覧配布場所

- ・国土交通省関係事務所(3箇所)
- ・福井県庁及び関係事務所(12箇所)
- ・市町村役場(20箇所)

○配布部数

対象流域	配布部数	閲覧日
九頭竜川	約1,500部	5月24日～
日野川	約1,500部	5月24日～
足羽川	約1,000部	3月30日～

-7-

◇インターネットによる情報発信

○福井河川国道事務所ホームページでの掲載

九頭竜川水系
今後の河川整備に関する説明資料

- 直轄管理区間(国管理)
 - 📄 表紙目次 [172KB]
 - 📄 1. 河川および流域の概要 [151KB]
 - 📄 2. 治水と利水の歴史 [385KB]
 - 📄 3. 現状と課題 [821KB]
 - 📄 4. 河川整備の目標と整備内容 [1828KB]
- 指定区間(福井県管理)
 - 📄 九頭竜川上流部ブロック [579KB] 05.06.02 New
 - 📄 九頭竜川中流部ブロック [5.1MB] 05.06.02 New
 - 📄 九頭竜川下流部ブロック [5.2MB] 05.06.02 New
 - 📄 日野川ブロック [1.45MB] 05.06.02 New
 - 📄 足羽川ブロック [384KB]
- 説明資料概要版(パンフレット)
 - 📄 九頭竜川 [1.83MB] 05.06.02 New
 - 📄 日野川 [1.45MB] 05.06.02 New
 - 📄 足羽川 [1.69MB] 05.06.02 New

*指定区間(福井県管理)の内容詳細については、
福井県土木部河川課までお願いします。
電話:0776-20-0461
FAX:0776-20-0659

平成17年4月6日～

- ・直轄管理区間
- ・指定区間(足羽川ブロック)

平成17年6月2日～

- ・指定区間(九頭竜川上流ブロック)
- ・指定区間(九頭竜川中流ブロック)
- ・指定区間(九頭竜川下流ブロック)
- ・指定区間(日野川ブロック)

URL:

<http://www.fukui-moc.go.jp/>

-8-

◇「住民説明会」による情報発信

● 周知方法について

○周知方法

・新聞掲載

九頭竜川・日野川（5/15, 5/20, 6/1に掲載）

足羽川（4/10, 4/12に掲載）

・インターネット

・フォーラム（3/19に開催）

◇「住民説明会」による情報発信

● 周知日と参加方法について

○周知日（記者発表日）

・九頭竜川・日野川 平成17年5月13日

・足羽川 平成17年3月18日

○参加方法

・自由参加

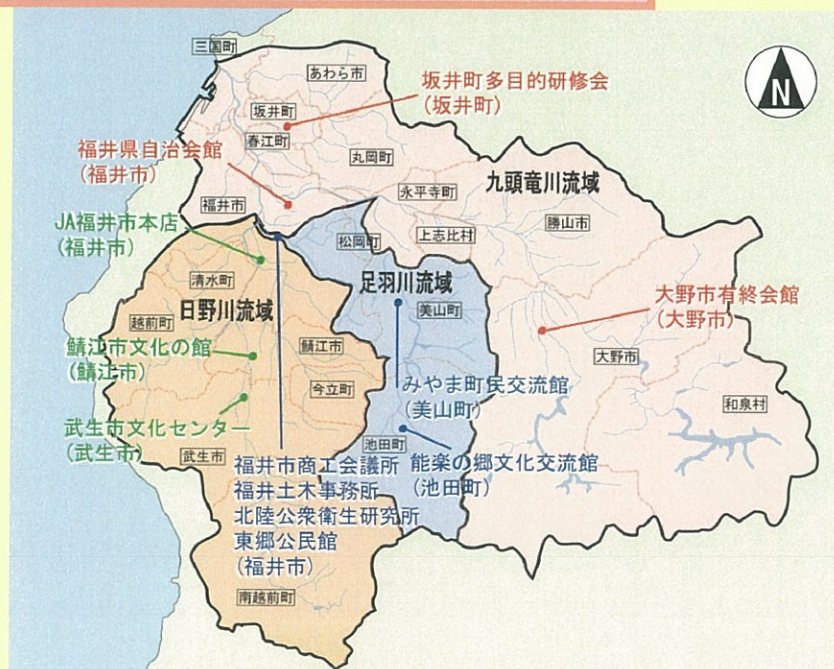
◇「住民説明会」の開催場所

計画区分 開催場所(回)		福井県					整備局
		九頭竜川上流	九頭竜川中流	九頭竜川下流	日野川	足羽川	直轄管理
九頭竜川	大野市	1					1
	福井市		1				1
	坂井町			1			1
日野川	鯖江市				1		1
	福井市				1		1
	武生市				1		1
足羽川	福井市					4	4
	美山町					1	1
	池田町					1	1
合計		1	1	1	3	6	12

※第26回委員会 開催場所の提案(案-2)に準拠して実施

-11-

◇住民説明会の開催場所



-12-

◇住民説明会の開催状況 (九頭竜川流域)

開催日時	場 所	参加者
6月7日(火) 19:00～20:30	坂井町多目的研修 施設 (坂井町)	約80人
6月8日(水) 19:00～20:30	福井県自治会館 (福井市開発)	約40人
6月9日(木) 19:00～20:30	大野有終会館 (大野市)	約80人

-13-



←坂井町多目的研修
集会施設

(坂井町)



大野有終会館→
(大野市)

14-

◇住民説明会の開催状況(日野川流域)

開催日時	場 所	参加者
5月31日(火) 19:00～20:30	鯖江市文化の館 (鯖江市)	約40人
6月1日(水) 19:00～20:30	JA福井市本店 (福井市湊)	約10人
6月2日(木) 19:00～20:30	武生市文化センター (武生市)	約50人

-15-



←JA福井市本店
(福井市湊)



武生市文化センター→
(武生市)

-16-

◇住民説明会の開催状況(足羽川流域)

開催日時	場 所	参加者
4月14日(木) 19:00～20:30	福井市商工会議所 (福井市西木田)	約90人
4月15日(金) 19:00～20:30	福井土木事務所 (福井市城東)	約60人
4月18日(月) 19:00～20:30	北陸公衆衛生研究所 (福井市光陽)	約60人
4月19日(火) 19:00～20:30	東郷公民館 (福井市東郷)	約60人
4月20日(水) 19:00～20:30	みやま町民交流館 (美山町)	約90人
4月21日(木) 19:00～20:30	能楽の郷文化交流館 (池田町)	約90人

-17-



←みやま町民交流館
(美山町)



能楽の郷文化交流館→
(池田町)

-18-

2. 主な質問等の紹介

-19-

◇説明資料に対する質問状況

平成17年6月23日現在

質問等の受付け方法	質問者数
メール	0人
FAX	15人
郵便(ハガキ)	72人
住民説明会	49人

※FAX用紙、ハガキはパンフレットに添付した用紙及びハガキで質問等を受付け。また、メールアドレスはパンフレットに記載。

-20-

九頭竜川流域

-21-

「治水」に関する質問等

- ・河川改修が土砂の堆積に追いついていないのではないか。このままだと、川底に土砂がたまって、河床が上昇し、洪水の発生を招くのではないか。(資料-3 P3 : 3102)
- ・河道内の草本類・木本類の繁茂、砂州の発生は、洪水の流れを悪くするため、早急な対策を講じてほしい。(資料-3 P3 : 3103)
- ・赤根川の河川改修で堰を切り下げると地下水は下がるというデータがある。地下水を下げない河川改修をお願いしたい。(資料-3 P5 : 3301)

-22-

「利水」・「環境」に関する質問等

- ・無理な発電取水をやめてほしい。行政と住民が心をわって既得権について話しあってほしい。(資料-3 P5 : 3305)
- ・勝山市に流れているのは80m³/sを取水した後の5m³/sだけである。染色工場や衛生処理センター等の排水によって非常に水質が悪く、川底もヌルヌルしている。利水については、どんな調整をしているのか。(資料-3 P5 : 3306)
- ・九頭竜川はアユやアラレガコ以外に、サケやサクラマスの川でもある。サケやサクラマスの遡上時期に、川の水深が小さく遡上ができない魚がプールに停滞している状況が見られます。そんな状況で低水路を拡幅すると水位がますます下がるのでないか。このように水位の低い時期についての環境も考えてもらいたい。(資料-3 P4 : 3203)

-23-

「利水」・「環境」に関する質問等

- ・上流の工場から出された排水は、下流の農業用水に流れ込んでいくことになる。経済産業省と農林水産省との横の連携を図り、河川の流量減少とこの農業用水の問題について対応してほしい。(資料-3 P5 : 3308)

「その他」の質問等

- ・国土交通省自らが、地表水と地下水の関係を調査し、明らかにするべき。(資料-3 P6 : 3310)

-24-

日野川流域

-25-

「治水」に関する質問等

- ・鞍谷川は過去に土嚢を積んでも追いつかずに越水した時に外から崩れてきた。これからは越水しても破堤はしない堤防を作ってほしい。
(資料-3 P8 : 2102)
- ・日野川の河川内の森のような木を伐採して頂きたい。自然もいいが人命が先ではないか。(資料-3 P8 : 2103)
- ・近年は家、道路、すべて舗装化されており、雨が降ると短時間で川が増水してしまう。行政の呼びかけで住民に個人貯留を奨励してはどうか。(資料-3 P8 : 2105)
- ・治水工事について、環境に配慮した工事をしてほしい。もちろん人命は優先です。(資料-3 P10 : 2302)
- ・現在の護岸は伏流水が流れ込めない構造となっているが、新しい護岸工事では、治水と両方考えた構造にしてほしい。
(資料-3 P10 : 2303)

-26-

「利水」・「環境」に関する質問等

- ・渇水時期における河道内の流水を確保するために、渇水調整のための体制づくりをしてほしい。(資料-3 P10 : 2307)
- ・河川の工事をした後は河川内にあった大きな石等がなくなっている。石が無い限り魚も住めないし、人が魚を捕りにも行かない。工事後に戻して欲しい。(資料-3 P10 : 2308)
- ・魚道について、現状は利にかなった魚道がない。今あるものは50年前のものである。全面的に下流から魚道を設置しないと魚が遡上出来ないので、漁協の意見も取り入れ、是非とも取り組んでほしい。(資料-3 P10 : 2309)
- ・真名川でフラッシュ放流をやっているみたいだが、ダムがある所で効果があるようであれば各河川で計画的に相談した上でしてほしい。(資料-3 P11 : 2310)

-27-

足羽川流域

-28-

「治水」に関する質問等

- ・遊水地は、平常時は田んぼなどに活用し、洪水時だけ遊水地として活用する方法が環境にもいいと思う。(資料-3 P14 : 1203)
- ・堤防が壊れないようにきちんと強化すれば、ダムを造らなくても洪水に対応できる。コスト面、環境面から考えてその方が良く思う。(資料-3 P13 : 1101)
- ・福井豪雨の程度の集中豪雨(時間100ミリ)の雨量でも洪水にならない様、足羽川の河川改修を行っていただきたい(資料-3 P30 : 10013)
- ・河床掘削(2m下げる)で治水安全度を上げることに疑問。年月が経てば現状のように堆積してしまうため、効果がないのではないか。数年後にまた河床掘削が必要となると考えるが、何年後に河床掘削するのか？現状の川幅で検討するには無理がある。(資料-3 P30 : 10040)
- ・保水の面での山間部の対策を教えてください。今回の検討にデータとして保水ははいっているのか。(資料-3 P16 : 1306)

-29-

「治水」に関する質問等

- ・足羽川ダムの「水を貯めるダム」「貯めないダム」を判断する資料として、ダムの建設や維持管理にかかる費用を示してほしい。(資料-3 P16 : 1303)
- ・穴あきダムで十分、コストを考えるべき(資料-3 P31 : 10043)
- ・ダムは反対だが、どうしても必要ならば自然にやさしい、海の生物のためにも常時水を貯めないダムの方がよい。(常時水を貯めるダムでは、下流では夏季に瀬切れ川となり雑草が生い茂り、ダム本体も数年で土砂が貯まり浅くなります)(資料-3 P33 : 10149)
- ・土地を提供する者にとって、治水専用ダムだと、子孫に自分たちの故郷を荒れ果てた寂しい土地にするために捨てたのかと思われづらい。水を貯めるダムを造ってほしい。(資料-3 P20 : 1603)

-30-

「治水」に関する質問等

・夏季の渇水期には持越橋下流～白粟発電所～足羽発電所までは水がほとんど流れません。(発電所に水を送るためと考えられます)ダムは反対です。緑のダムで十分だと思います。足羽川は何十年かに1回氾濫するのは自然の姿です。国がどうしてもダムを造るのであれば自然に優しい、環境に優しい海の魚貝類のよく育つ上流の森づくりのためには、常時水を貯めないダムの方がよいです。部子川に常時水を貯めるダムでは、下流は夏季、瀬切れとなり、上流の森林は荒廃しダム本体も土砂が溜まり浅くなります。洪水だけを調節するダムでよい。(資料-3 P32 : 10087)

・ダムの結論を早急に出していただきたい。やるならいつまでにやるのか伺いたい。(資料-3 P20 : 1604)

-31-

「治水」に関する質問等

・ダム設置位置については、元的美山町蔵作での計画の方が効果が大きいと思われるが、元の位置での計画、検討はないのですか。(資料-3 P31 : 10014)

・ダムは、当初計画があった足羽川中流域で造るのがベターだと思うが、あくまで部子川上流で造るのか。(資料-3 P19 : 1503)

・福井豪雨を経験し、足羽川流域の安全性を確保するため、ダムの有効性を痛感しました。利水と治水を兼ねた川づくりを考えてほしい。治水には雨はどの地域に降るか分からないから、足羽川本流にダムを造るのが効果的ではないかと考えます。部子川のダムは利水用として有効に利用してはいかがでしょうか。(資料-3 P32 : 10066)

・ダムを建設したとしても、ダム直下流区間の被害が完全に防げないのであれば無駄ではないのか。完全に災害を防げるダムを考えるべき。(資料-3 P19 : 1504)

-32-

「治水」に関する質問等

・流域住民の生命と財産を守るためには、足羽川ダムは絶対に必要な施設であり、流域住民が安全で安心して暮らせるように早期完成を望む。地球温暖化が進む中では今後、局地的豪雨と干害が数多く発生する危険性がある事から、河川維持用水からも、安全なダムを建設願いたい。ダム建設で水没残存する事となる池田町民の方には長期にわたり心身を煩わせているので、早期に結論をだすべきと思う。(資料-3 P31 : 10049)

・2回水害にあっている。九頭竜川決壊、日野川決壊。河川敷で草刈(乳牛のエサ)を約50年してきている。現在、九頭竜川河川敷地で草刈をしているが、九頭竜ダムのおかげでほとんど草刈場に水が上がらない。足羽川、日野川はすぐに河川敷に水が上がる。それはダムがないからだ。常時水を貯めるダムでなければならない。ダムで水没する人たちには十分に補償してあげてほしい。(資料-3 P32 : 10059)

-33-

「治水」に関する質問等

・長期的に4川導水の計画なら、地元住民が何度も用地買収されることのないよう、最初からそれに対応したダムを計画してほしい。(資料-3 P20 : 1605)

・貯水型ダムでやるべきだと思います。長期的には4川導水をにらみ、ダム堤の高さは4川導水できるものを最初から計画してほしい。そして長年苦しんできている居間の住民が望んでいる用地買収は一発でお願いしたい。(資料-3 P32 : 10126)

-34-

「治水」に関する質問等

・この部子川の自然のいい千代谷を水床にしないで下さい。なるべくダムはしないで下さいお願いします。(資料-3 P32 : 10077)

・この年で歩くのも困っているのに、長く住みなれた地をはなれたくない。他の地に行ったら生活は出来ないと思います。自然にまかせる外ないと思っています。私はダムは絶対反対です。(資料-3 P32 : 10078)

・いくつかの案があってもよいから、住民が聞いて、その姿がわかるような説明、ダムを造ったらどれだけ埋まるのだと、どんなダム湖になるのだと、どんな高さになるのか、水を流すダムだと高さはそれほどいらぬのかも知れないが、そういったものをちゃんと説明してもらわないと、我々もイメージの作りようがない。賛成も反対もできないではないか。
(資料-3 P14 : 1201)

-35-

「治水」に関する質問等

・足羽川の治水、利水は重要な課題である。現状は安全・安心な河川でなく、特に治水対策は貧弱である。ダム建設も含めて、治水利水を整備し、安心できる河川になる事を希望する。(資料-3 P31 : 10050)

・人の生命財産が第一、鳥魚は2の次。美化も自然も上流で大型ダムが必要である。福井豪雨の川河は自然ない、魚もいない、金はある。早く上流で大型ダム必要。(資料-3 P32 : 10132)

・ダムについて事務所としては満水式にしたいのだと思いますが、ヘドロを吐き出す黒部川や土砂をため込む天竜川の例なども隠さず資料として公表すべきです。その上で住民の賛成を得て、ダムを整備して欲しい。またダムは部子川と水海川だけで本流や他支流には造らないでほしい。
(資料-3 P32 : 10142)

-36-

「治水」に関する質問等

- ・早くダムを設置して欲しい。又、副ダムも2, 3ヶ所必要だと思います。
(資料-3 P33 : 10149)
- ・代替案の遊水地は土地を買い取って常時遊水地にする案なのか。全国的には、通常田んぼをしながら、いざとなったら遊水地として使っている。このような代替案は検討したのか。(資料-3 P20 : 1602)
- ・長期間を見越した政策が必要である。場合によっては、地下貯水場などを多く作り、一時的に水をプールする方策も考えるべきである。
(資料-3 P31 : 10035)
- ・安心して生活するために、足羽川にダムを造ってほしい。農業者にとって水は命だが、調整するだけの水量がない。したがって水を貯めるような形のダムを造っていただきたい。(資料-3 P16: 1304)

-37-

「治水」に関する質問等

- ・常時水を貯めるダムは時代に合わない。洪水時には田畑に流せば良い。親水階段護岸は土砂で埋まっている。右岸ゲートが絞ったままである。
(資料-3 P33: 10169)
- ・水を貯めるダムは、どれぐらいで土砂がいっぱいになるのか。またその際の対策について教えていただきたい。(資料-3 P16: 1302)
- ・どのような導水路をつくっても、流木、土砂についての問題は避けられないのでは。(資料-3 P19: 1502)
- ・谷筋には、もう一度豪雨がきたら流れ出してしまう木がたくさんある。そうしたものが水を貯めないダムだとどうなるのか。(資料-3 P20: 1603)

-38-

「利水」・「環境」に関する質問等

・治水対策ばかりでなく、環境面や生態系に配慮しながら良いものをつくっていただきたい。(資料-3 P14 : 1208)

・川の中で散歩できるような遊歩道の整備、魚釣りができるような淵等を作ってほしい。(資料-3 P35 : 10031)

・常時、水の流れている安全で安心できる川にしてほしい。(資料-3 P30 : 10163)

・(足羽川下流の)瀬切れによる動植物保護の為に上流にダムを造り、常時水を確保するという考えがあるが、それではダムを造って湛水をし大きな生態系へ負荷を与え、環境を壊す上流部のことはどう考えるのか。小を殺し大を生かす考えはおかしい。(資料-3 P34 : 10157)

-39-

「利水」・「環境」に関する質問等

・足羽川は子供の頃から慣れ親しんだ空間です。水遊びの場でした。その頃の環境に復せるならば、親水空間として取り戻したい。地球環境の変化によるものなのか、最近、降雨状況に変化が見られる。これらに充分対応可能な足羽川にしてほしい。河道の維持管理用水、農業用水も是非確保すべきである。(資料-3 P35 : 10057)

・足羽川は市民の財産です。常に行政も積極的に美化の協力を。京都、石川、広島の水はきれいですよ。(資料-3 P34 : 10171)

・ゴミについては、幼児の時から癖をつける事が大切で、幼児のゴミ拾い、小学生のゴミ拾い、中学生のゴミ拾いと子供の時からのが必要で、私は町屋のゴミを集りのあった時にやかましく話しをし、掃除をしていくと、きれいな所はゴミを出しにくくなって美しくなります。町内ごとに月をきめて当番したりしたらいいと思います。(資料-3 P36 : 10032)

-40-

「その他」の質問等

・福井県の顔である福井市の中心を流れる河川であるのだから、都市河川を目指して整備が行われるのが良いと思う。

(資料-3 P37 : 10160)

・足羽川堤防の桜並木の保全について、どのような具体的な方策があるのか。(資料-3 P13 : 1104)

・桜並木は市民に愛されており、残す方向で検討してほしい。

(資料-3 P15 : 1214)

・昨年の福井豪雨では足羽川の堤防が決壊し、甚大な被害をもたらしました。福井市街地の河川敷は福井市民の憩いの場として、特に桜並木は名所として市民に親しまれている。堤防の幅を河川敷に広げる等して、この桜の名所を子孫に残すよう、検討を願いたい。

(資料-3 P36 : 10003)